

みずほCustomer Desk Report 2019/04/11号(As of 2019/04/10)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.20
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.09	1.1266	125.14	1.3052	0.7128
SYD-NY High	111.28	1.1288	125.44	1.3130	0.7175
SYD-NY Low	110.84	1.1230	124.78	1.3049	0.7110
NY 5:00 PM	111.02	1.1274	125.12	1.3088	0.7171
NY DOW	26,157.16	6.58	日本2年債	-0.1700	▲1.00bp
NASDAQ	7,964.24	54.97	日本10年債	-0.0600	▲1.00bp
S&P	2,888.21	10.01	米国2年債	2.3202	▲2.75bp
日経平均	21,687.57	▲115.02	米国5年債	2.2695	▲3.69bp
TOPIX	1,607.66	▲11.10	米国10年債	2.4640	▲3.75bp
ソコ日経先物	21,665	30	独10年債	-0.0265	▲1.45bp
ロンドンFT	7,421.91	▲3.66	英10年債	1.0950	▲0.70bp
DAX	11,905.91	55.34	豪10年債	1.8675	▲2.65bp
ハンセン指数	30,119.56	▲37.93	USDJPY 1M Vol	5.05	▲0.04%
上海総合	3,241.93	2.27	USDJPY 3M Vol	5.61	▲0.02%
NY金	1,313.90	5.60	USDJPY 6M Vol	6.25	0.03%
WTI	64.61	0.63	USDJPY 1M 25RR	-1.03	Yen Call Over
CRB指数	189.66	1.10	EURJPY 3M Vol	6.43	▲0.07%
ドルインデックス	96.91	▲0.09	EURJPY 6M Vol	7.03	▲0.13%

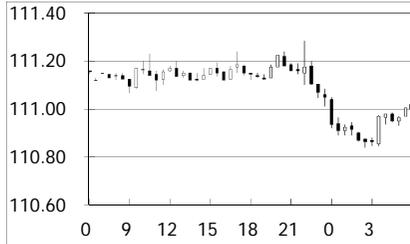
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月10日	12:40	豪 デベル豪中銀副総裁 講演		「豪指標の乖離、政策金利の方向決定する上で注視」
	15:15	日 黒田日銀総裁 講演		「当面、現在の大規模な金融緩和策を続けることは確か」
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 0.6%/0.1%	0.1%/-0.9%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	2月 0.9%/0.6%	0.2%/-0.6%
	20:45	欧 ECB主要政策金利	-	0.0%
	21:30	欧 ドラギECB総裁 講演		「ECBは必要に応じすべての政策手段を調整する用意がある」
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	3月 0.4%/1.9%	0.4%/1.8%
4月11日	03:00	米 FOMC議事要旨		「年内の金利目標レンジの据え置きを正当化する算が大きい」

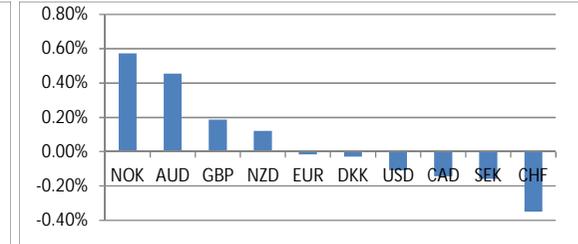
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月11日	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	3月 2.3%/0.4%	1.5%/0.1%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	3月 0.4%/1.3%	0.4%/1.3%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	210k
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	3月 0.3%/1.9%	0.1%/1.9%
	22:30	米 クラリダFRB副議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-111.30	1.1230-1.1320	124.50-125.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は下落する展開。ECB理事会後のドラギECB総裁の会見において今後の経済見通しに対する慎重な見方が示されるとユーロ円の下落に連れてドル円も軟調推移となり111円を割れて下落。FOMC議事要旨公表前にドル売りの流れとなると一時110.84まで下げる局面もあったものの、特段のサプライズはなく公表後に買い戻しが入り111円台前半でクローズした。本日のドル円は上値の重い推移を予想。昨日公表されたFOMC議事要旨にはサプライズはなくFRBは当面ハト派スタンスを継続することが想定される上、グローバルな景気減速懸念は払拭されていないことを考えるとリスクオンの動きは強まりにくいと考えられる。

東京	東京時間のドル円は111.09レベルでオープン。日経平均株価が前日比大きく下落するも、ドル円はEU臨時首脳会議、ECB理事会、3月FOMC議事要旨の公表等を控えて様子見姿勢が強く動意に乏しい展開。111.10台を中心とした狭いレンジでの推移が続き、111.15レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.15レベルでオープン。ECB理事会、米CPI、FOMC議事要旨等イベントを控え小動き。111.12円～111.24円の小幅なレンジで推移し111.16レベルでNYに渡った。ロンドンでは、1.3070レベルでオープン。本日夕方のEU臨時サミットを控え、1.3055～1.3101のレンジで売り買いが交錯。独メルケル首相が独下院で、「できるだけ短期の延期であるべき」と発言したとの報道が出たものの、市場の反応は限定的。方向感に欠ける中、1.3086レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルリ 00631 444 179 北原)
ニューヨーク	NY市場のドル円は111.16レベルでNYオープン。朝方は、米3月CPI(前月比)が予想と一致する一方、前年比が予想をやや上回りドル円はやや上下するが、ドラギECB総裁の記者会見を目前に控え、反応は限定的となる。その後開始された記者会見では、TLTROの詳細の言及を避けるなどドラギ総裁の慎重な姿勢が見られたが、マイケル金利階層化の話も進んでいると取れる様な発言もあり、引き続き景気、インフレに対する見通しも弱かったことから、ユーロ売りドル買いが強まる一方、ドル円はユーロ円の下落に上値を切り下げ、110.92まで下落する。午後に入るとFOMC議事録発表を前にドル売りが優勢となり、110.84まで下落する。注目の議事録は「数名の参加者は適切な金利ターゲットは、データ次第で両方向にシフトする、などが明らかになったが、特段のサプライズは無く、その後イベント通過でやや買戻しが強まる中、ムニッヒン米財務長官が「中国と通貨に関する多くの進展があった」「通貨に関する部分の協議は終わった」と発言し、その後本邦大手紙が「日本政府、米国の自動車数量規制や為替条項の要求があれば拒否へ」と伝えるがドル円の反応は限定的となり、111.02レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.1277レベルでオープン。朝方はドラギECB総裁の記者会見を前に1.1288まで上昇する局面もあったものの、前述の通りドラギ総裁の発言を受けユーロ全面安となり、1.1230まで下落する。しかしその後は米金利低下を手掛かりにドル売りが強まり、ユーロドルは1.1278まで戻す。午後は狭いレンジでの推移が続き、1.1274レベルでクローズした。(NY 15:30)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:森谷・玉井